

釧路市を訪れる客層と観光客の流動

～首都圏観光客・道内観光客・道内ビジネス客が3大マーケット

●釧路市の宿泊客の客層

釧路市観光の主要マーケットは「首都圏からの観光客」「道内からの観光客」、そして「道内からのビジネス客」です。このほか、特定の目的をもった来訪客として、夏場はゴルフ客、秋冬はアイスホッケー観戦客などが目立ちます。

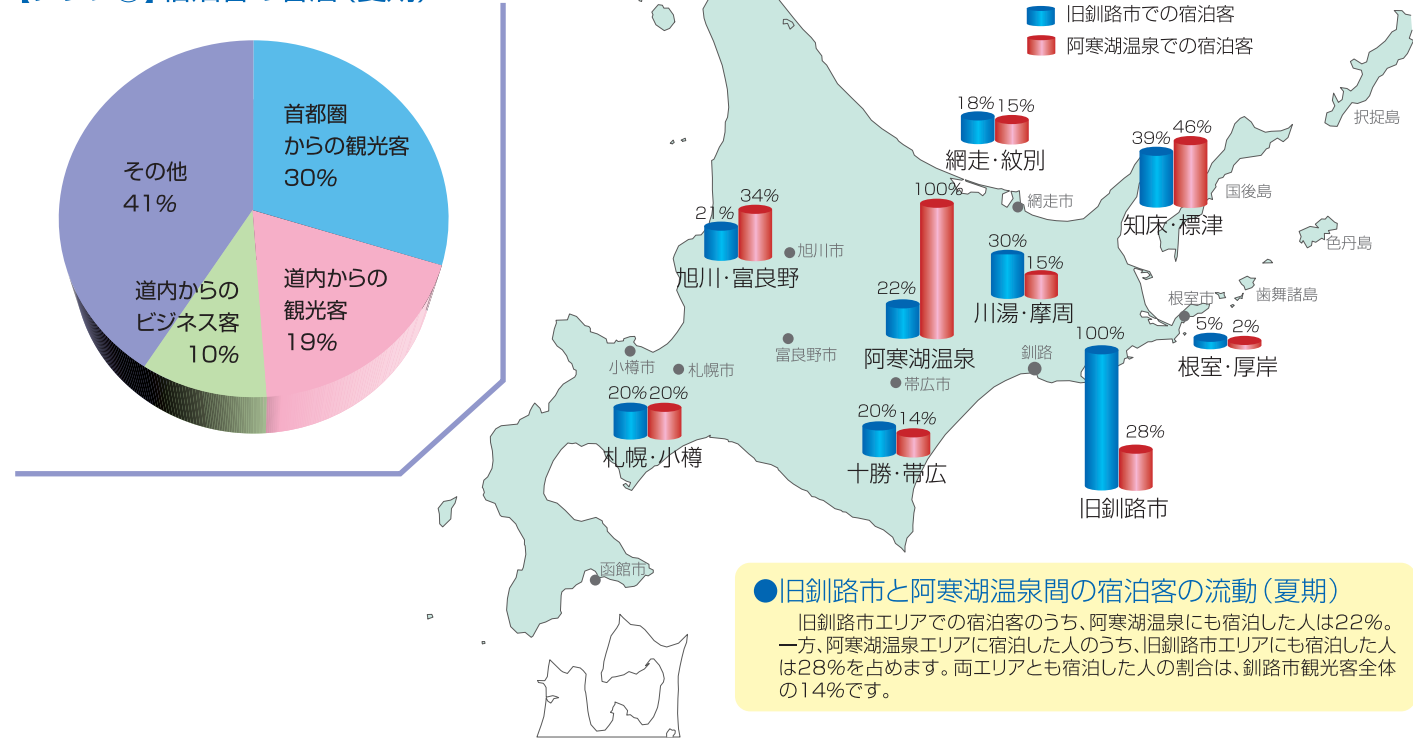
宿泊客の流動をみると、道内客が比較的多い旧釧路市の宿泊客では川湯・摩周や十勝・帯広といった近隣工

リアとの組み合わせが目立ちます。一方で、首都圏からの観光客が比較的多い阿寒湖温泉の宿泊客では知床・標津や旭川・富良野にも足を伸ばしている方が多くみられます。

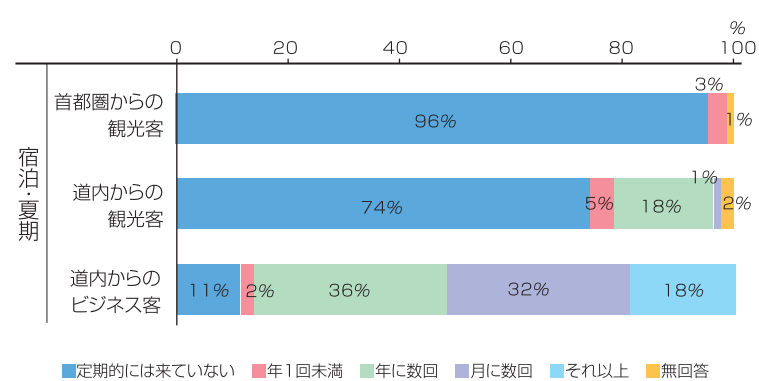
道内ビジネス客では、定期的に釧路市を訪れている人がおよそ9割を占めます。活動内容をみると2割が会議・コンベンション目的の来訪です。

【グラフ④】釧路市宿泊客の流動（夏期）

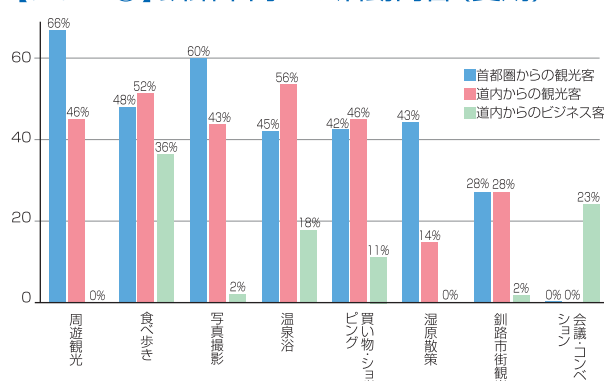
【グラフ③】宿泊客の客層（夏期）



【グラフ⑤】釧路市への来訪頻度（夏期）



【グラフ⑥】釧路市内での活動内容（夏期）



釧路市を訪れる来訪客の消費実態

～宿泊客は平均3万円を釧路市内で消費、旧釧路市と阿寒で異なる消費実態

●釧路市を訪れる来訪客の消費額

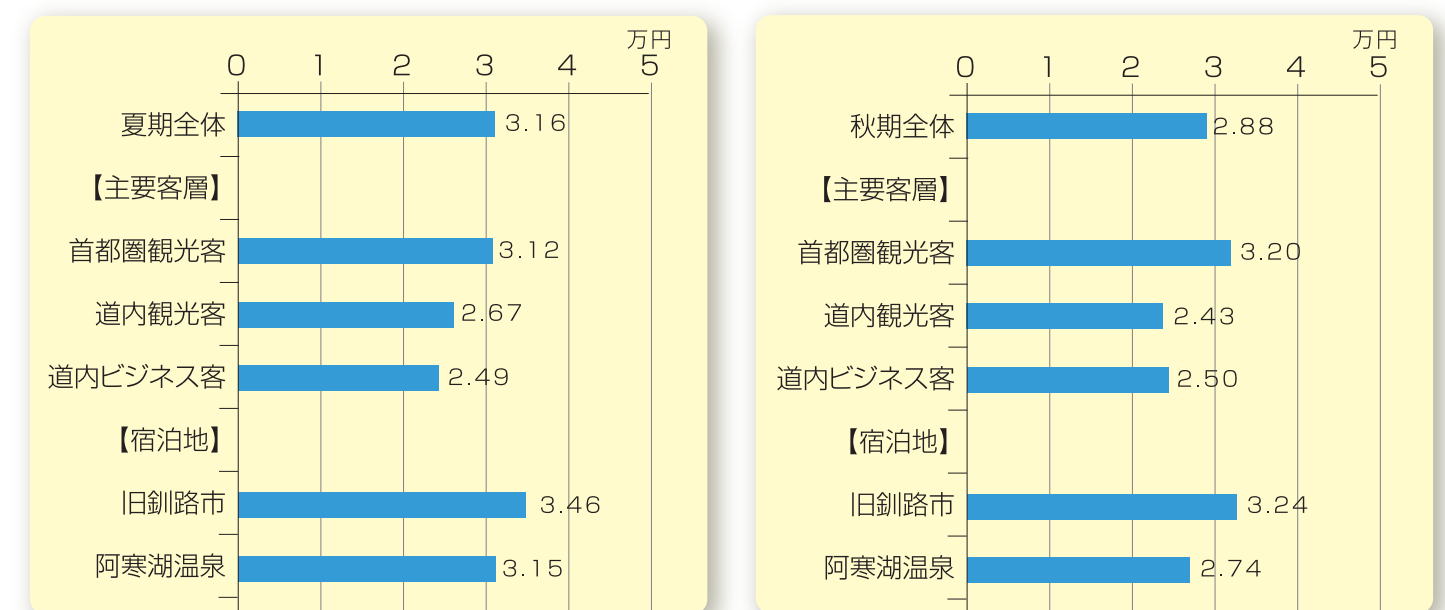
釧路市内に宿泊した人は、1人当たり平均で29,627円を同市内で消費しています。夏期の方が消費額が高く、また客層別では首都圏からの観光客の消費額が比較的高くなっています。なかでも目立って高いのが夏場のゴルフ客。海産物を中心に1人あたり平均10万円を消費していました。

なお、日帰り客は1人およそ9千円、釧路市外で宿泊した通過客はおよそ7千円を釧路市内で消費しています。

【表①】来訪客1人当たり平均消費額

	平均消費額
宿泊客	29,627円
夏期	31,552円
秋期	28,752円
日帰り客	8,956円
通過客	7,119円

【グラフ⑦】宿泊客1人当たり市内消費額（季節別および客層別、宿泊地別）



●宿泊地別にみる来訪客の消費実態

観光客の消費には、宿泊地によってそれぞれの特徴がみられます。

旧釧路市エリアの宿泊客は、飲食費や海産物など「食」に関連する消費が多いです。一方、阿寒湖温泉エリアの宿泊客では旧釧路市エリアに比べて宿泊費が高く、飲食費が低くなっています。これは、夕食代が宿泊費に含まれることが多いのと考えられます。アイヌコタンで取り扱いの多い「工芸品・装飾品」の消費額が比較的高いことも阿寒湖温泉エリアの特徴です。

【表②】宿泊客1人当たり費目別消費額（宿泊地別）

費目	旧釧路市		阿寒湖温泉	
	夏期	秋期	夏期	秋期
宿泊費	12,949	10,822	16,343	12,693
飲食費	6,585	5,331	2,586	2,115
交通費	2,217	2,015	2,122	1,889
ガソリン・駐車場	1,418	1,287	671	845
公共交通など	634	849	205	275
その他	21	297	151	280
観光施設入場料	333	447	644	667
日帰り温泉入浴代	90	83	100	38
マッサージ・エステ代	473	334	519	248
ゴルフ場利用料	678	179	143	—
観光ガイド	615	285	328	144
土産・買物代	986	696	927	830
海産物・水産食料品	3,525	4,773	2,164	2,322
菓子類	1,242	2,373	1,410	1,835
その他食料品	886	840	634	809
工芸品・装飾品	397	389	1,408	1,419
衣類・繊維・革	601	258	537	259
薬・化粧品・旅行用品等	124	149	123	133
その他	787	957	502	586
合計	34,560	32,364	31,516	27,386